

俺たちや野良犬

——チヨット言わせてもらいます——



人間どもの統計とやらによれば、俺たち犬族の起こす咬傷事故は毎年県下で二百件を超え、二万三千頭が野犬または不用犬として捕獲されているという。

それもそうだろう。俺たちや少々気が立ってるし、ろくな飼い方もされてない。やけのやんばち、女子供をガブリとやるものならばたちまち御用ご質問のように鉄格子からガス室への直行便だ。

俺たちは鉄格子の中から叫びたい。糾弾されるべきは飼主のモラルだ。動物愛護の精神なんだと。言いたくもなるだろう、咬傷事故を起こす犬の殆んどが飼犬で、それも放し飼いの状態で起きている。飼主が正しく鎖につないでいるならば、事故の大半は未然に防止できるだろうし、また飼主が「捨て犬」をしなければ、野犬が増え、人に危害を及ぼすこともなくなるだろう。そうすりゃ、俺たちだって悪者にならなくて済むというもんだ。

ただ俺たちや元来粗野にできている。そこはやはり、残念ながら人間のようにしき監視を必要とせざるを得ない。となれば、それを承知で飼う以上人に危害や迷惑のかからぬよう十分な注意を払う、これは飼主として当然の社会的義務というやつだ。俺たちだって好き好んで野犬になり、人を咬むのではない。人を憎んで犬を憎まず、不心得な飼主の糾弾とともに我々野良犬に対するご厚情も併せて願いたいものだ。

県下最大の処理施設が五カ所ある。ここ熊本市小戸島の「熊本県犬管理センター」だけでも、毎週金曜日、三百頭平均の犬がガス処理されている。

